

教団新報

定価 1部220円(本体200円+共283円)
 予約購読料 1年分 千共 3,962円
 紙代のみ 3,080円
 振替 00140-9-145275
 本紙を購読ご希望の方は、前金を
 そえて、お近くのキリスト教書店
 へお申し込み下さい。
 教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団
 169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
 日本キリスト教会館内 電話03(3202)0546
 FAX03(3207)3918
 URL http://uccj.org
 発行人 網中彰子
 編集主筆 米山恭平
 印刷所 株式会社きかんし



柿ノ木坂教会 (東京教区)

ペンテコステ メッセージ

見ずに信じ、伝えます

ペトロの手紙一 1章8〜9節

あなたがたは、キリストを見たことが
 ないのに愛し、今見なくても信じてお
 り、言葉では言い尽くせないすばらし
 い喜びに満ちあふれています。それは、
 あなたがたが信仰の美りとして魂の救
 いを受けているからです。
 ペトロの手紙一1章8〜9節

40日に何があったのか

主イエス・キリストが
 復活されて昇天なさるま
 での40日について、聖書
 はあまり多くを語ってい
 ません。
 使徒パウロのコリント
 教会に宛てた手紙には、
 「復活された主が弟子た
 ちに御姿を現わされ、
 500人以上もの兄弟た
 ちに同時に現れて、ヤコ
 ブや使徒たちに現れた」
 と。
 そして、これは聖霊降
 臨後のことですが、「最
 後には教会の迫害者で

あった自分にも御姿を現
 わして下さった」と記

「教会」への備えとしての40日

十字架を恐れ、自分た
 ちの命を守ることだけに
 懸命だったあの弟子たち
 を、聖霊が降ると共に、

主を見ることなく信じる

主がよみがえられた御
 姿を見て、御声を聞いて、
 主が生きておられると信
 じることができて、弟子
 たちは初めて十字架の恐
 れを受入れることができ
 て、ほんとうに主を畏れ
 る者となったのでしよ
 う。

「い」は伝道の最前線

弟子たちの信じること
 の道筋は、復活の事実
 に支えられて、ここから十
 字架へと遡ったはずなの
 です。主がほんとうに生
 きておられることを確か
 に信じて、「主はわたし
 たちの罪のためにほん
 とうに死んでくださったの
 だ」と罪赦されているこ



渡邊 義彦

されています。また、四
 つの福音書が記している
 ところでは、主は復活な
 さって、エルサレムでも、
 ガリラヤでも御姿を弟子
 たちに示され、エマオへ

多くなるとは記されてい
 るわけではありませ
 ぬ。主が復活なさり、昇天な
 さるまでの40日にどう
 いったことがあったのだ
 ろうか、と思います。

る迫害、殉教に十分備え
 させることになったのは
 何ゆえか。このことの大
 切な期間だったと考えら
 れるべきです。よみが
 えられた主は、復活な
 されたその日に、直ちに

なることに不安はなかつ
 たのだろうか、と考えま
 す。
 昇天の記事を読むと、
 弟子たちが直ちに神の国
 が到来することを期待し
 ていたようにも読めます
 し、今見ている主が、直
 ちに王となられることを
 期待していたようにも思
 えます。

主がよみがえられた
 ことを確かな基点とし
 て、弟子たちは、罪の赦
 しとして十字架を信じ理
 解しました。主が昇天な
 さるまでの40日にお語り
 になったこと、囲んでく
 ださった食卓を確かに魂

(柿ノ木坂教会牧師)

宣教師会議

▶ 2026年3月23～25日 ◀

“On being connected” つながっていること

7年ぶりに開催、12か国の宣教師が参加

宣教師会議が3月23～25日、清里(山梨県清里)を会場に開催された。今回は2019年であり、コロナ禍を経て7年ぶりの開催であった。

参加者は宣教師と家族が30名、世界宣教師協会と宣教師人事・支援委員会より6名(一部は宣教師でもある)、教団三役と総幹事、そして職員2名であった。宣教師(と家族)の出身国はトゴ、ガーナ、カメルーン、南アフリカ、スイス、フィリピン、香港、インドネシア、台湾、韓国、米国、および日本であり、派遣先は北海道から本州と九州を経て沖縄までの諸教会、ミッション系学校、キリスト教系団体である。



日本全国から清里に集う

は開会礼拝と自己紹介、そして夕刻に親睦会を行った。体を動かしながら互いの名を呼び、知り合うことで、それぞれの場と働きを知った。二日目午前は、雲然俊美教団総会議長、廣石望世界宣教師人事・支援委員長、そして小海光宣教師が、現在の教団とエキュメニカルな諸関係について概説し、新旧の宣教師たちに教団の基礎知識を更新してもらった。午後には、清泉寮周辺の「レオンジャーおまかせガイドウォーク」を楽しみ、夕刻には、参加者から教団へのリクエストや意見をj受ける時間をもった。そして三日目午前は閉会礼拝の中で聖餐を祝い、前・世界宣教師担当幹事の加藤

誠牧師を含む、逝去宣教師の方々のお名前を読み上げて記念した。企画委員会は、日英対訳のプログラム冊子を配布した。礼拝式文をはじめ、二日目夕刻の会合で

【参加者の声】

コフイ、
アフアツチャオ

トゴ出身・合同メン
ジスト教会

この会議に参加する機会をいただき、大変うれしく思います。

開会礼拝は、私を含むアフリカチームが担当しました。お互いを知るために行ったゲームも、手芸のワークショップも、とても楽しい時間でした。また、教団の構造などについて学ぶことができ、とても有益で新しい学びとなりました。ディスカッションの時間では、他の宣教師の方々が直面している課題や、それに対するさまざまな解決のアプローチを知ることができ、私にとって非常に重要で価値のあるものでした。

めプログラム随所に工夫が施され、多くの参加者が説教や司会、奏楽、聖礼典やファンリテーションで役割を担った。

【アジア学院
サ福音キリスト教会
インドネシア・ミナハ

宣教師会議に参加したことは、ミナハサ教会(GMIM)を代表する立場の私にとって非常に価値ある初めての経験でした。異なる背景や奉仕の文脈を持つ多くの国の宣教師たちと交わりを築き、礼拝、気軽な会話を通じて、互いに知り合うことができました。

地域文化の中でインドネシア系日本人の会衆、特に日本で生まれ育った子どもたちを牧会する際に直面する課題、アイデンティティ、言語、信仰の意義などの葛藤は、多くの他の宣教師たちも経験していることを知りました。またグループ協議を通じて、派遣教会と受け入れ教会とのより密接

は、当初の「リクエストや意見」に場合によって個別に回答するという趣旨を少し変え、参加者に共通する課題を浮き彫りにすることを試みた。具体的には、①「派遣元」教団と教区「派遣先」の関係の派遣先(教会、学校、団体その他)での

なコミュニケーションの重要性、そして文脈に合った宣教師の必要性を認識しました。

何よりも、私たちが一人で奉仕しているわけではないと感じられたことが嬉しかったです。教会のリーダーや他の宣教師たちと出会うことで視野が広がり、宣教師に対する見方も豊かになりました。

今後の会議では、若い世代に届く具体的なミニストリーの実践や戦略を共有する場が増え、私たちの宣教がより関連性と影響力のあるものになることを願っています。(GMIM大洗ナザレ教会)

トーマス・ゲッツ

アメリカ合衆国長老教会

2026年の教団宣教師会議は、再びつながることの喜びを深く感じ、励ましの満ちたひとときでした。数年ぶりの再会となり、世界各地から来た新しい仲間と出会うとともに、日本各地で長く宣教に携わってきた方々との友情を新たにす

活動、③家族・文化・共同体の特性、という三つのフィールドに参加者を分けた。

重要な事項として、①のグループからは、教団と教区が派遣元や派遣先とのコミュニケーションを密にすることで、宣教師を適切に支援する態勢

一つとされ、共に学び、仕え、信仰の歩みを続ける共同体です。(北星学園)

宣教師会議において、教団で仕えている世界の宣教師の先生方、教団の三役をはじめ多くの方々との交わりを持てたことに感謝いたします。日本の福音化という同じ使命を担う同労者との出会いは大きな励みと励ましとなりました。この機会を通じて、日本の教会が韓国に示してくださった愛に感謝します。その感謝を分かち合うために李樹廷

を構築してほしいという要請があった。②のグループはさらに三つに分かれ、ミナハサ教会(GMIM)系からは、子どもたちが日本社会で社会化するうちに、母語インドネシア語もキリスト教信仰も理解できなくなる現状が報告された。

彼は1882年日本に渡り津田仙と出会い福音に触れます。1883年4月29日に東京築地の教会で安川亨牧師とジョージ・ノックス牧師により洗礼を受けました。韓国人が日本で正式に受洗した最初の事例です。李樹廷は暗闇にあった朝鮮への支援を求めて1883年12月にアメリカの教会へ手紙を書きました。この手紙が大きな反響を呼びアンダーウッドとアペンゼラー両宣教師の派遣を決定づける契機となりました。1885年初頭、二人は朝鮮へ向かう途中に横浜で、マルコ福音書を翻訳していた李樹廷と

韓国の教会の愛を受けた韓国教会の一員として日本の教会の働きに深く感謝するとともに、これからも共に福音の使命を担っていきたくて願っています。(系満教会)

韓国系のグループは、日本の無牧教会に宣教師を派遣する可能性について問うた。またミッションスクール系のグループは、よりオープンなアプローチで学校と教会をつなぐ課題を述べた。そして③のアジア学院系グループからは、ローカル

出会います。彼らは朝鮮語を学び、すでに翻訳されていたマルコ福音書を携えて1885年4月5日の復活祭に朝鮮の地を踏み歩きました。2026年の復活祭はちょうど141周年です。翻訳された聖書を携えて宣教師が宣教地に入国した事例は極めて稀であり、日本の教会は韓国教会の形成に極めて重要な役割を担

柳宗佑
大韓イエス教長老教会
〈統合〉

宣教師会議において、教団で仕えている世界の宣教師の先生方、教団の三役をはじめ多くの方々との交わりを持てたことに感謝いたします。日本の福音化という同じ使命を担う同労者との出会いは大きな励みと励ましとなりました。この機会を通じて、日本の教会が韓国に示してくださった愛に感謝します。その感謝を分かち合うために李樹廷

このことを述べます。彼は1882年日本に渡り津田仙と出会い福音に触れます。1883年4月29日に東京築地の教会で安川亨牧師とジョージ・ノックス牧師により洗礼を受けました。韓国人が日本で正式に受洗した最初の事例です。李樹廷は暗闇にあった朝鮮への支援を求めて1883年12月にアメリカの教会へ手紙を書きました。この手紙が大きな反響を呼びアンダーウッドとアペンゼラー両宣教師の派遣を決定づける契機となりました。1885年初頭、二人は朝鮮へ向かう途中に横浜で、マルコ福音書を翻訳していた李樹廷と

韓国系のグループは、日本の無牧教会に宣教師を派遣する可能性について問うた。またミッションスクール系のグループは、よりオープンなアプローチで学校と教会をつなぐ課題を述べた。そして③のアジア学院系グループからは、ローカル

出会います。彼らは朝鮮語を学び、すでに翻訳されていたマルコ福音書を携えて1885年4月5日の復活祭に朝鮮の地を踏み歩きました。2026年の復活祭はちょうど141周年です。翻訳された聖書を携えて宣教師が宣教地に入国した事例は極めて稀であり、日本の教会は韓国教会の形成に極めて重要な役割を担

柳宗佑
大韓イエス教長老教会
〈統合〉

宣教師会議において、教団で仕えている世界の宣教師の先生方、教団の三役をはじめ多くの方々との交わりを持てたことに感謝いたします。日本の福音化という同じ使命を担う同労者との出会いは大きな励みと励ましとなりました。この機会を通じて、日本の教会が韓国に示してくださった愛に感謝します。その感謝を分かち合うために李樹廷

韓国系のグループは、日本の無牧教会に宣教師を派遣する可能性について問うた。またミッションスクール系のグループは、よりオープンなアプローチで学校と教会をつなぐ課題を述べた。そして③のアジア学院系グループからは、ローカル

出会います。彼らは朝鮮語を学び、すでに翻訳されていたマルコ福音書を携えて1885年4月5日の復活祭に朝鮮の地を踏み歩きました。2026年の復活祭はちょうど141周年です。翻訳された聖書を携えて宣教師が宣教地に入国した事例は極めて稀であり、日本の教会は韓国教会の形成に極めて重要な役割を担

柳宗佑
大韓イエス教長老教会
〈統合〉

宣教師会議において、教団で仕えている世界の宣教師の先生方、教団の三役をはじめ多くの方々との交わりを持てたことに感謝いたします。日本の福音化という同じ使命を担う同労者との出会いは大きな励みと励ましとなりました。この機会を通じて、日本の教会が韓国に示してくださった愛に感謝します。その感謝を分かち合うために李樹廷

2026年度 第7回 「教師継続教育研修会」開催案内

- ◎日時 2026年8月17日(月)14時～19日(水)12時
- ◎場所 日本聖書神学校(東京都新宿区下落合3-14-16)
- ◎参加対象 准允後3～10年までの教師、他教派から転入後10年までの教師、教師委員会が承認した者(最大准允後15年まで)
- ◎主題 「あなたが立ち直ったら 一しくじりと失敗を糧に」
- ◎講師 講演1=小泉 健(東京神学大学教授) 講演2=小宮山剛(逗子教会牧師) 牧会講話=関谷直人(同志社大学教授)
- ◎参加費 5,000円
- ◎交通・宿泊費 交通費は1万円を超えた金額を補助(新幹線・飛行機利用の場合は、なるべくパックを利用のこと)。宿泊は各自(ただし、パック利用でなく一泊1万円を超えた場合、一泊につき2,500円を補助)。パックの場合は、一泊1万円を差し引いた額を交通費とする。
- ◎食事 一日目と二日目の夕食のみお弁当あり。その他は各自。
- ◎申し込み締切 7月15日(水)
- ◎申し込み先 kyoshi-c@uccj.org 日本基督教団教師委員会

伝道報告

七十二人は喜んで帰って来て、こう言った。…イエスは言われた。「あなたがたの名が天に書き記されていることを喜びなさい。」 ルカによる福音書第10章17節～20節

伝道のともしび

伝道推進室より応援した教会・伝道所

この地にある教会としての歩み

長岡教会牧師、柏崎伝道所（代務者） 玉置千鶴子



上：雪に閉ざされた伝道所 下：3月7日礼拝後、会堂にて

トの一室等を転々としながら礼拝・集会等を守り、伝道所としての歩み積み重ねてまいりました。その後、会堂取得を願い、1998年にその夢が実現し、2000年に献堂式を実施し、現在も当該会堂において日々の礼拝・交わりが守られています。しかし、2007年7月16日の新潟県中越沖地震により、地域は大きな被害を受けました。幸いにも伝道所自体に大きな被害はありませんでしたが、関係者宅が被災する中で、ボランティアセンターとしての役割も担いました。これまで主任担任教師が着任していた時期もありましたが、長らく代務者（実質的には兼牧）によって歩みが続けられています。現在は、柏崎市と新潟市の間で位置する長岡教会が主任担任教師を代務者として派遣・担っています。加えて、可能な限り月1〜2回程度は、長岡教会の役員を中心に司式や奏楽な

どの奉仕をお手伝いし、礼拝出席という形で支援も続けています。また、会員は2名（うち毎週の礼拝出席者は1名）であり、役員会を組織することが困難なため、長岡教会役員会が柏崎伝道所の役員会機能を代行しています。このように、代務者（牧師）のみならず、信徒間も互いの顔が見える関係性を大切にしながら歩んでいます。また、長岡教会から支えられるだけでなく、宣教協力費（対外献金）を通して柏崎伝道所も長岡教会を支えるという相互的な関係性も大切にしています。礼拝時間については、代務の都合上、日曜午後15時より礼拝を守っています。そのため、日曜日出席が難しい長岡教会会員が出席する機会もなっています。また、近年は寒波の影響により、高速道路および一般道が予防的に通行止めとなる場合があり、代務者が来所できず家庭礼拝として守らざるを得ないこともあります。しかし、地域性やコロナ禍においても家庭礼拝を実施してきた経緯があり、その形もある意味で継承されている、と言えるのかもしれない。

礼拝出席者は平均4名と多くはありませんが、その分、一人ひとりの教会を支えようとする思いは強められていると感じています。昨年度からは新来会者の定着もあり、感謝しています。今後も互いを尊重しつつ、この地における伝道所の歩みが、神様の守りのうちに豊かに育まれていくことを祈りつつ、歩みを続けてまいりたいと思います。

マイノリティ円卓会議2026 日本の教会がマイノリティと共に歩むために



3月12日から14日、ルーテル市ヶ谷センターにてマイノリティ宣教セミナー主催の「マイノリティ円卓会議2026」が開催された。主題は「人種差別・マイノリティ排除の風を抗しよう」。国内外の登壇者が、アイヌ・琉球沖縄・在日コリアン・移民と難民、被差別部落・性的マイノリティなど各領域の現状を共有した。基調報告では、日本政府が国連・人種差別撤廃委員会から繰り返し勧告を受けながら、植民地支配に対する歴史的責任を果たさぬまま、人権状況を改善していない実態が示された。海外からはドイツのマルティン・クリークさんが移民・難民

排斥の現状を、カナダ合同教会のクワカ・ククボさんが移民・難民支援活動を紹介。韓国のイ・ヨンさんは移住民への差別と憎悪の実態を、イ・ナヨンさんはジェンダー正義の歴史と課題を語った。国内では田森茂基さんがアイヌの課題、神谷武宏さんが琉球・沖縄の現在、朴金優綺さんが朝鮮学校差別、角志保美さんが難民受け入れの現状、平良愛香さんが性的マイノリティとしての経験を報告した。師岡康子さんはヘイトスピーチ解消法の実効性の低さとクルド人への攻撃など深刻な連鎖を指摘した。筆者は部落解放センター理事として部落差別の現状、ネット上での地域情報の拡散や教育現場での課題を報告。解放運動内に見られる女性軽視、複合差別の視点からの問い直しについても提起した。

最終日の討論では、「マイノリティ円卓会議」と称しながらもマイノリティ当事者の参加が著しく少ない、現在も植民地主義は終わっていない等の課題が率直に指摘された。福音宣教において差別問題を見過すことはできない以上、教会はマイノリティと共に差別に抗う責任を担う。しかし、取り組むが当事者不在のままなされてはならないか。日本の信者一人ひとりが自らに問い続けることが求められている。（上野玲奈報）

Table with columns for names, titles, and affiliations of participants in the round table discussion.

エキュメニカル協力奨学金募集
◎奨学金支給期間 2026年9月より、当該年度(1年)限り
◎留学の機関 日本基督教団関係大学・短期大学・神学校・それらと同等のキリスト教主義教育機関、教団教師養成機関
◎申込 2026年8月12日(水)必着、日本基督教団事務局国際関係委員会(〒169-0051東京都新宿区西早稲田2-3-18)まで
*詳細は教団HPを参照

Table listing names and titles of individuals mentioned in the text, such as 聖光学院高校, 東京神学大学, etc.